



申 立 て の 趣 旨
任意後見監督人の選任を求める。

申 立 て の 実 情
(申立ての理由、本人の生活状況などを具体的に記入してください。)
<p>本人は、長年にわたって自己の所有するアパートの管理を行っており、平成〇年〇月〇日に乙山春男弁護士との間で、任意後見契約を結んだ。その後、認知症の症状が進み、アパートの家賃の徴収や賃貸契約等を一人で行うことができなくなったので本件を申し立てた。</p>

この申立てをするに至ったいきさつや事情を分かりやすく記入してください。

公正証書に記載されている番号です。

本人と任意後見契約を締結している者（任意後見受任者）については、商業登記簿上の名称又は商号、法人の場合には、商業登記簿上の名称又は商号、代表者名及び主たる事務所又は本店の所在地を適宜の欄を使って記載してください。

登記事項証明書に記載されている番号です。

任意後見契約	公正証書を作成した公証人の所属	〇〇地方 法務局	証書番号	平成〇年 第〇〇〇号
	証書作成年月日	平成〇年〇月〇日	登記番号	第〇〇〇〇—〇〇〇〇〇〇〇号
任意後見受任者	住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 電話 〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇〇マ(ン)〇〇〇号(方)		
	フリガナ氏名	オツヤマ 春男	大正	〇年〇月〇日生
受任者	職業	弁護士	本人との関係	
	勤務先	電話 〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 〇〇法律事務所		

(注) 太わくの中だけ記入してください。